

第4回活動 「**斐伊川河口を歩いてバードウォッチング**」

日本でも有数の野鳥の探鳥地「斐伊川河口」の土手を歩きながらバードウォッチングを行いました。ラムサール条約は「特に水鳥の生息地として国際的に重要な湿地に関する条約」と、水鳥と関わりの深い正式名称となっています。今回観察した野鳥も32種のうち半数以上の19種が水鳥でした。

斐伊川河口でのバードウォッチングの様子



観察した鳥類リスト (17科 32種)

カモ科	ヒシクイ	チドリ科	タゲリ
	マガン	シギ科	ハマシギ
	コバクチョウ	カモメ科	セグロカモメ
	コハクチョウ	ミサゴ科	ミサゴ
	ヒドリガモ	タカ科	トビ
	マガモ		チュウヒ
	カルガモ	ハヤブサ科	ハヤブサ
	コガモ	モズ科	モズ
	ホシハジロ	カラス科	ミヤマガラス
			ハシボソガラス
カイツブリ科	カイツブリ	スズメ科	スズメ
	ハジロカイツブリ	セキレイ科	ハクセキレイ
ウ科	カワウ		セグロセキレイ
サギ科	アオサギ	アトリ科	アトリ
	ダイサギ		カワラヒワ
	コサギ		オオジュリン
クイナ科	オオバン	ホオジロ科	

バードウォッチングで歩いたコースと観察した鳥の写真

ひいかわ かわこう
斐伊川河口ってどんなところ？
 宍道湖と斐伊川の接点となる斐伊川の河口部は、砂洲やヨシ原、周辺の水田地帯など多様な環境がある場所です。そして、その環境を利用するたくさんの鳥が見られる、日本でも有数の野鳥探鳥地になっています。

約1kmを歩きながらバードウォッチングをしました。

